



「意見広告」12月8日付朝日新聞に掲載!

「12・8不戦の誓い」行動!水戸駅で。



1941年12月8日。日本がアメリカの真珠湾とイギリスの植民地であったマレー半島を奇襲攻撃。無謀な太平洋戦争が始まりました。日本が起こした戦争で日本で310万人、アジア・太平洋地域では2,000万人とも

言われる尊い命が奪われました。日本全土が焼け野原となり、広島と長崎には原子爆弾が落とされ、敗戦を迎えました。「この日を忘れない」思いで、県平和委員会は毎年12月8日に平和を願い「新聞意見広告」に取り組んでいます。

一方、県母親連絡会や新日本婦人の会、平和・民主・革新の日本をめざす茨城の会(茨城革新懇)は、12月8日に水戸駅頭で「赤紙」の配布を行ってきました。今年は県平和委員会から篠原睦事務局長も参加し、コロナ禍を越えて4年ぶりの水戸駅での取り組みとなりました。

今こそ、われわれが立ち上がる時! 県内から160人が参加!

11・18茨城大集会…平和の準備を進めよう!

「戦争する国づくり」を許さず、「平和の準備」を進める茨城大集会(県革新懇主催)が、11月18日(土)、13:30から、水戸駅北口で開催されました。

集会には県内各地から160人が参加。久々に「集まれば元気」「声を上げれば元気」を実感しました。集会後は、花山知宏さんのシュプレヒコールに唱和しながら南町自由広場までデモ行進しました。

■岸田政権を退陣に追い込み、野党連合政権で希望ある政治の実現を訴える



茨大名誉教授の田中重博さんが主催者を代表して「岸田政権の物価高と国民生活に対する無為無策と国民の声を聞かない問答無用の政治から支持率が30%を割っている。イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への無差別攻撃に対して、日本政府が『人道的休戦を求める決議』に棄権するなどアメリカ追従の姿勢がきびしく問われている。岸田政権を退陣に追い込み、野党連合政権で希望ある政治を実現しよう」と訴えました。

来賓の二見伸明元運輸大臣が「今こそ、われわれが立ち上がる時。自分たちの足元からみんなで変えていこう」とあいさつ。伊藤岳参議院議員(日本共産党)が「ガザでの

ジェノサイドを許してはならない。岸田政権は、軍事予算を増やし、国民の暮らしを置き去りにしている。岸田政権の退陣を求めよう」と国会報告と同時にガザの悲惨な現状を報告をしました。

■各団体の代表12人によるリレートーク

新日本婦人の会茨城県本部の河野恭子さんなど12人がリレートーク。木村泉県平和委員会代表理事は「戦争準備には、戦争法(法律)、長距離ミサイルの保有(兵器)、そして人が必要になる。そのため防衛省は自治体に対して、自衛隊への個人情報提供を求めています。毎年お世話になっている平和委員会の新聞意見広告は、この個人情報提供問題を取り上げました。今年は12月8日、朝日新聞の一面に掲載されます。賛同金への協力をお願いします」と思いを込めて訴えました。

■日本政府は停戦への外交努力を! 「イスラエルはただちにガザ攻撃中止を」

最後に、特別決議「イスラエルはただちにガザ攻撃中止を 日本政府は停戦への外交努力を行え」と集会アピール「『戦争する国』づくりを許さず『平和の準備』を草の根から進めよう」を読み上げ、集会参加者の大きな拍手で採択しました。



## 49回目のスタンディング 「ウクライナ侵略反対！」

### <県平和委員会>

#### ～茨厚労中央執行委員18人と共に訴える～

ロシアによるウクライナ侵略から562日目となる11月24日（金）、12時から、水戸駅南口でスタンディングをおこないました。茨厚労中央執行委員の18人（土浦協同病院等で働く組合員）が中執会議の昼休みを利用して参加してくれました。新日本婦人の会県本部からは4人が、「ガザに自由を 子どもを殺すな」などのプラカードを持って駆けつけてくれました。

#### ■パレスチナ人は1万4千人以上、ウクライナ国民は1万人以上が犠牲に！

イスラエルによる無差別な報復攻撃によって、わずか48日で、ガザ地区に住むパレスチナ人は1万4千人以上が殺されています。24日は、イスラエルとイスラム組織ハマスの間で4日間の戦闘中断が合意した初日に当たり、双方の人質解放と即時停戦を訴えました。

ウクライナ国民もすでに1万人以上が犠牲となり、年齢が確認できた人のうち、子どもが半数近く、3分の1以上が60歳以上とされています。国際社会の関心がガザ地区



の悲劇に向けられている中で、ウクライナは二度目の厳しい冬を迎えており、「一日も早い戦争終結を」とプーチン大統領を批判しました。

#### ■茨厚労の若者組合員が多数参加した集会

岸田政権が、アメリカの顔色をうかがってイスラエルに停戦を求めなかったこと、先月27日から始まった核兵器禁止条約締結国会議にオブザーバー参加しなかったことなども指摘し、「戦争準備ストップ」をアピールしました。

スタンディング後、茨厚労の若者たちに感謝しながら集合写真を撮りました。

## 「イスラエルによるパレスチナ自治区ガザ攻撃中止」の意見書提出を求める請願

### 平和委員会が、県議会へ請願しました。

12月6日（水）、県平和委員会事務局は茨城県議会に対して、上記意見書の提出を求める請願書を提出しました。紹介議員は、江尻加奈日本共産党県議会議員、宇野信子市民の会ネットワーク議員、中村勇太無所

属議員の3人でした。

意見書提出先は、「内閣総理大臣」「外務大臣」「衆議院議長」「参議院議長」としました。県内自治体ではすでに、かすみがうら市議会、つくば市議会で採択されています。

## 年内最後の大集会！「12・24 平和を求める総がかり行動」 改憲反対！ 戦争即時停戦・パレスチナに平和を！

敵基地攻撃を含む安保3文書改悪など、国民無視の暴走政治を続けてきた岸田政権は、大增税と矛盾する所得減税、派閥パーティー券問題等々で大きく支持率が低下し、政権末期の状況になっています。

国際情勢では、ロシアのウクライナ侵略が膠着状態です。そんな中でイスラエル軍によるパレスチナ自治区ガザへの攻撃が続き、多くの女性、子どもたちが亡くなっています。市民からは「何で戦争が止められないのか」という声が高まっており、茨城からも「パレスチナに平和を求め、戦争反対」の声をあげることが求められています。多くのご参加を！

**日時：12月24日（日）集会13:00～14:00※雨天決行**  
**場所：JR水戸駅・南口 ペDESTリアンデッキ**  
**内容：各団体からのリレートークと宣伝行動（デモはありません）**  
**主催：12・24 平和をを求める総がかり行動実行委員会**

## オンライン学習会第17回 自衛隊基地の増強—現場からの報告（2）

自衛隊の増強、日米軍事一体化等が進められている南西諸島。米軍基地が集中する沖縄市では、池原の陸上自衛隊沖縄訓練場で弾薬等の補給処が建設されようとしています。今回のオンライン学習会では沖縄市民の会共同代表の島袋恵祐さんに現場の実態や住民運動のとりくみについて報告していただきます。

**12月21日（木）午後6時～8時**

**おはなし：《自衛隊の弾薬庫等建設に反対する沖縄市民の会共同代表》  
島袋 恵祐 さん 沖縄県議会議員/沖縄市区選出**

**申し込み方法** ■以下をメールにてお知らせください。

- ・件名「平和委員会学習会」 ・おなまえ・市町村名
- ・連絡先(電話番号) ・当日お使いのメールアドレス
- ・送り先 shizen-k@woody.ocn.ne.jp (担当/上野)

■メールが届きましたら、学習会参加のお知らせを送信します。